

12月26日(金)午後8時

NPO法人 北九州ホームレス支援機構の
炊き出しに長い列ができる。彼らは「弁当」
ではなく「心」をもらいに来ている。
(小倉北区新勝山公園にて)

嘉麻市社協だより

えがお

発行日 2009.2.1 No. 36

連載企画

ホームレス支援の現場から①

(4ページ)

NPO法人 北九州ホームレス支援機構
奥田知志理事長

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

発行 〒820-0205 福岡県嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内
TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>
FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

クローズアップ嘉麻

No.6

嘉麻市で暮らす外国人の生活の困りごととは？

〈在住外国人生活ニーズ調査から見えてきたこと〉

皆さんは、嘉麻市に外国人登録をしている方がどれくらい住んでいるかご存知ですか？平成20年12月31日現在、外国人登録者の数は352人で、全人口(4万4千人)のおよそ1%となっています。この中には、短期就労及び技術習得(研修)というかたちで、暮らしている方も含まれています。

一方、日本全体で外国人登録している方は、約210万人(平成20年4月1日現在)と全人口の1.63%となっており、20年連続で増加しているというのが現状です。今後、少子高齢化の進行に伴う労働力人口の減少などによって、外国人の数はさらに増加することが予想され、地域社会を構成する一員として、お互いに支えあっている関係をいかにして作っていくのかを考えていく時期にきているのではないかと思います。

本会においては、昨年、福祉活動(地域支えあい事業)での相談を通じて、市内で暮らす外国人の方の生活の一端を垣間見ることとなり、これまでの活動が外国人の方を対象としていなかったことに気づくことになりました。そのため、昨年8月から10月にかけて、市内7企業及び翻訳ボランティアの皆さんにご協力をいただき、初めて「在住外国人生活ニーズ調査」を実施しました。

今回のクローズアップ嘉麻では、その結果から見えてきたことなどを紹介しながら、外国人の方が抱える生活課題や今後必要となってくる支援等について考えてみたいと思います。

調査対象	嘉麻市在住もしくは在勤の外国人
調査項目(24)	基本属性 出身国、生年月日、来日目的、滞在年数及び地区、日本語の習得 住居・地域 住居形態、近所との付き合い、生活ルール、災害時の避難場所 生活・余暇 日用品等の買物、移動手段、地域行事への参加、生活する上での課題他
アンケート配布数	45(市内7社) 有効回収数(率)43(95.5%)
調査方法	市内企業の担当者を通じて配布及び回収(調査票は中国語と英語に翻訳して配布)
調査期間	平成20年8月25日(月曜日)～10月17日(金曜日)

基本情報(43人)性別/男性20人 女性22名(無回答1人)出身国別状況/中国40人/タイ3人
年齢区分/20～30歳/22人 30～40歳/19人 40～50歳/1人

外国人登録とは？

日本において市町村と特別区で作成される外国人の住民に関する記録。作成は外国人本人の申請に基づいて行われます。日本に連続90日を超えて滞在しようとする外国人(無国籍者を含む)は、在外公館(大使館・領事館など)関係者といった一部の例外を除いて、必ず登録する義務があります。

来日目的

来日目的の設問では、「技術習得のため」と回答した方が30人で約7割となり、工業技術等を学ぶための来日が多いことがわかりました。

日本での家族構成や滞在期間は？

日本での家族構成の設問では、「夫婦と子ども」という方も2人いましたが、「単身」と回答した方が38人となり、約9割となりました。

また、滞在期間の設問では、すべての方が「3年未満」となりました。永住ということではなく、研修ビザで来日して技術を学び、3年以内に帰国する方がほとんどだということがわかりました。

内訳は「1年未満」が13人、「2年未満」が15人、「3年未満」が15人となっています。

日本語はやはり難しい……

日本語についての設問では、「ほとんどできない」が3人、「少しなら聞き取れる」が32人と、合わせると8割となります。

した。3年という短い期間では、日本語を習得してコミュニケーションを図ることがいかに難しいことなのかがわかりました。

近隣(地域)との付き合いや ルールの把握は?

近隣住民との付き合いの有無についての設問では、「あまりない」が6人、「全くない」が21人と、約6割となりました。

また、ゴミ出しなどの地域のルールについての設問では、「よく把握している」が21人、「ある程度把握している」が22人となっており、生活に必要な最低限の事柄は、全員が把握できているということがわかりました。

災害時における公共の避難場所の把握についての設問では、「知っている」が24人、「知らない」が16人、「どこに聞けばいいかわからない」が3人となりました。知らない人、わからない人が合わせて約4割となっており、情報の提供が今後の課題であることがわかりました。

通勤や買物などの主な移動手段は?

通勤や買物などの主な移動手段についての設問では、「自転車」が31人で7割、徒歩が10人でした。「自動車」と回答した方はわずか2名でした。「公共交通機関」と回答した方は0人でした。公共交通機関の利便性についての設問では、「どちらでもない」と回答した方が21人で最も多く、利用したことがない方の回答と推測することができません。

地域の行事等の社会参加は?

地域の行事等への参加の有無についての設問では、「参加していない」と回答した方が23人と最も多く、5割となりました。「参加している」と回答した方はわずか3人で、「参加したくない」が2人でした。また、「参加したいけれど方法がわからない」と回答した方は13人でした。このことは、言葉も通じない国で暮らす外国人の方が、「なんらかの方法で地域と関わりを持ちたい」と思っている方が3割いるということがわかりました。こ

のような方々へどう呼びかけていくかが今後の課題です。

日本での相談相手は?

日本での生活における相談相手についての設問では、「職場の同僚」と回答した方が25人と最も多く、約6割となりました。次に多かったのが「母国の家族・知人・友人」14人が3割となっており、3割の方が「身近」に相談相手がないということがわかりました。

日本で生活する上での 課題は?(複数回答可)

日本で生活する上での課題についての設問では、「日本の生活習慣を学ぶ」と回答した方が33人と最も多く、約3割となりました。次に多かったのが「日本語の習得」24人で約2割、「日本の社会制度を知る」と答えた方が21人と続きました。

このことから、短い滞在期間ではありますが、日本の生活習慣や日本語、社会制度を学び、もつと暮らしを楽しく有意義にしたいと思っっている方が多いということがわかりました。

調査を終えて

外国人の方の何らかの支援につながるきっかけになればと思い実施した今回のアンケート調査の結果、改めて「言葉の壁」という問題が大きいことがわかりました。日本語だけではなく、中国語や英語、ハングル語などによって情報を発信することが「情報の格差」を埋めていくことにもつながっていきます。身近な生活情報はもちろん、災害時の避難場所の伝達などの場合にも、伝える「相手」をイメージしていくことが必要なのではないかと、改めて感じました。

また、身近に相談相手がない方が多いということもわかりました。多くの方が、日本での生活に不安や悩みを感じた場合、母国の家族や友人・知人に頼る他ないという現状を踏まえ、日本での生活をサポートできる仕組みがあれば、少しでも安心して暮らすことができるのではないかと感じました。

さらに、買い物や通勤の移動手段として、自転車がないので困るという方も多くいることもわかりました。嘉麻市は、公共交通機関の利用が不便な地域ですので、自動車を所有しない外国人の方にとって、自転車は移動のための貴重なツールであることがわかりました。

今回の調査を終えて、外国人の方の支援を考えていく上においては、手を差し伸べて支援するという特別な「対象者」とするのではなく、お互いに知り合うという視点に立って考えていかなければならないことを感じました。外国人の方の暮らしに思いをめぐらせながら、市民の一人として、また社協としてできることを皆さんとつしよに考えていければと思います。

ホームレスの現状
—彼らは好きで野宿
をしているのか?—

1988年12月。支援者によつて最初の「おにぎり」が路上に生きざるを得ない人々に配られました。あれから20年目の冬を迎えています。今年も炊き出しに並ぶ人々の列がこの時代の現実を映し出します。

現在北九州市内に暮らすホームレスの数は180名。最も多かった2004年には市内のホームレスは500名に達していました。同年、長



く対立をしてきた北九州市と私たちの間で協働が開始されました。9月には「自立支援センター北九州」が開所し、その後、年間150名ほどが自立されるようになりました。自立者総数は650名に達しました。

しかし、多くの人々が「ホームレスは、自ら、好きでなつた」と思つておられます。しかし20年間北九州の路上から彼らの生きざまを見てきた私にとつてそれは誤りであると言わざるを得ません。何よりもすでに自立した650名の存在がその事実を雄弁に語つていると思います。

「今日私は人間に戻りました」。長く野宿生活をしてきたAさんが自立のための支援住宅に入居され、最初に述べられた一言です。「犬や猫が街角でゴミをあさつているでしょう。あれですよ。昨日までの私はあの犬や猫と同じでした」。Aさんに限らず食べ物を探すと表現する野宿者が多い。野宿生活自体が生存の危機であるのみならず、人間の尊厳

や誇りを深く傷つけていることがよくわかります。「私は眠る前にいつもお祈りをします」。Bさんはそう私に告げられました。「もう二度と目が覚めないようにしてください」。Bさんの願いはそれだけだつたといえます。当事者から聞く野宿生活の事態は想像を絶する絶望の闇に覆われています。彼らは決して自ら選んで野宿をしているわけでも、好きで野宿をしているわけでもありません。そもそも好きで出来るものでもないのです。

北九州で野宿者が数増したのは1998年以降です。前年1997年142名だった野宿者数が翌年1998年には236名に跳ね上がり、その後急増していきました。1997年とはどのような年であつたのでしょうか。それは現在に通じる構造改革の始まりに当たる年でありました。金融危機と自由化によって北海道拓殖銀行が破たん、山一證券・三洋証券が経営破たんを迎えました。「護送船団方式」と言われた日本型の経営が終焉を迎え、自由競争の時代に入りました。その後、労働(市場)の自由化も進み、今日のような

大量の非正規雇用労働者が生み出すことになりました。前年24391人だった自殺者数は、翌1998年32863人に急増しました。以後昨年2007年に至るまで3万人を突破した状態が続いています。1998年の自殺急増の要因として「経済破綻による50代の働き盛りの死が指摘されました。ホームレス急増と自殺者急増がこのような90年代後半の社会変化の中で起こつたことに注意を払う必要があります。「新自由主義」の社会は「自己責任」にすべてを転嫁する社会です。

しかし、このような実情を見るにつけ、私は「自己責任」だけでは済まない社会そのもの問題を感じざるを得ないので。昨今の派遣切り等の問題もいづれホームレス問題に発展しかねません。派遣という会社のシステムによつて個人の責任以前の段階で切られた人々に対して、社会全体が考えようとしていきます。実は、ホームレス問題も同根の問題なのです。好きでホームレスをしている? いえ、そんなことはありません。そのことを知ることがホームレス問題の入口となります。

おくだ ともし 東八幡キリスト教会牧師
奥田 知志さん 認定NPO法人北九州ホームレス支援機構理事長

1963年、滋賀県大津市出身。関西学院大学神学部大学院修士課程卒業、西南学院大学神学部専攻科卒業。学生時代に訪れた大阪市・釜ヶ崎(現:あいらん地区)の日雇い労働者の現状を目の当たりにし、ボランティア活動に参加したことがきっかけで、牧師の道を歩み始める。以来、北九州市を中心に20年にわたつてホームレス支援活動を行い「ホームレスは、単に住む家がない(ハウスレス)ことが問題ではなく、社会や人とのつながりを失うことが問題」と訴える。



協力会員を募集しています!

●地域支えあい事業情報●

地域支えあい事業は、市民（高齢者や障がい者、一人親家庭や子育て中の方など）が抱える、日常生活における困りごとを解決するために、ボランティア意識のある協力会員が有償でサービスを提供する事業です。

昨年の12月は、「換気扇の掃除をしてほしい、窓ふきをしてほしい」など、新しい年を迎えるにあたり、日頃できない所の掃除に関する相談が多く寄せられました。サービスの提供を受けた利用会員からは「とても助かりました。気持ちよく新年を迎えられそうです」と満足した声が届き、また協力会員からは「私たちのできることがあって良かったです」と充実した声が聞かれました。このような思いが広がっていくことで、事業の目的である「困った時はお互い様」の地域づくりに繋がっていくように思います。

協力会員は、何か特別な知識や資格がなくても活動できますので、登録して活動してみませんか？詳しい内容をお知りになりたい方は、下記までお気軽にお電話ください。



冷蔵庫を掃除する協力会員

協力会員研修会を開催します

協力会員として活動するためには、基本となる心構えや個人情報保護に関すること、さらには、この事業の仕組み等について理解を深めてもらうための研修を事前に受けることが必要となります。

そこで、登録手続きはすでに済ませているけれども研修を受けていない方、またこの記事を見て活動してみようと思われる方を対象として、下記により研修会を開催しますので、ご参加ください。

なお、協力会員は事前に登録が必要になりますので、新たに登録をされる方は、早めにご連絡をお願いいたします。

- 日 時 …… 平成21年2月28日(土)
10時～12時
- 場 所 …… 稲築住民センター 2階

問い合わせ先
嘉麻市社会福祉協議会
☎42-0751



前回の協力会員研修会のようす

広げよう! 「顔」が見える関係づくり

地域福祉部
紹介 no.2

鴨生町行政区地域福祉部



どんど焼きでもちを丸める福祉部役員

「鴨生町地域福祉部は、とにかくいろいろなことにチャレンジするんですよ。みんなで知恵と力を少しずつ出し合って、楽しく活動しています。」同福祉部長の荒木紘子さんは、団結力と行動力に胸を張ります。

鴨生町行政区（山下靖治区長）は、旧国鉄鴨生駅跡周辺の住宅と商店街を中心とする600世帯を超える大きな行政区で、炭鉱で活気があつたころは、映画館をはじめたくさんの商店が軒を連ねる屈指の繁華街として賑わいました。今でも、鴨生町の夜の風物詩となっ

ている鴨生夜市（7月下旬）や恵比寿神社のどんど焼き（1月中旬）などは、当時のなごりを感じる事ができる心温まる行事となっています。

同福祉部の一番の特徴は、活動のメニューが多いことです。毎月1回（第4金曜日）のふれあい・いきいきサロンの実施はもちろん、地域の方々が自主的に立ち上げた「手習い教室」（毎週月曜日）やコーラスグループ「たんぽぽ」の運営（毎週火曜日）、ちぎり絵・ぬり絵教室の開催（毎月第1・3金曜日）など、実に様々な活動が行われています。

中でも、「手習い教室」は、地域の方が講師となってペンで習字を習うという気軽さが好評で、毎回多くの方が参加しており、発足から3年が経過した今では、資格取得にチャレンジする方もいるそうです。民生委員の越岡加代子さんは、「教室が終わった後、ひと息つきながらのおしゃべりも楽しみのひとつです。」と話してくれました。



もっと上手になりたい！（手習い教室にて）

また昨年、これまで不定期に開催していたサロン活動を見直し、毎月1回定期的に開催するようにしたことで、徐々に地域に定着し「今度のサロンはひばりの映画ばい。いっしょに観に行こうや。」と、参加者同士がお互いに声を掛け合うようになり、参加者の輪が広がりました。

福祉推進員の井上一江さんは、「とにかく仲間づくりと生きがいづくりを応援することが私たちの役割。お互いが声をかけ合いながら暮らせる地域づくりをめざしたい」と、積極的に活動しています。来年度は、活動を

さらに積み重ねていくため、地域福祉部の役員一人ひとりに担当地区を割りあて、一人暮らしの高齢者宅等への定期的な訪問活動も検討しているとのこと。同地域福祉部では、「みんなの意見をキャッチできる地域福祉部」「住民全員が福祉部の役員という意識」を合言葉に、これからもますます団結して、鴨生町らしさを大切にした活動を広げていきたいと考えています。

本会では、「助け合い、支えあえる地域づくり」をめざして、嘉麻市全域への地域福祉部の設置をめざしております。地域福祉部の活動について「もっと詳しく知りたい」「行政区の会合で説明してほしい」という要望やご意見等がありましたら、嘉麻市社会福祉協議会（TEL42-0751）までご連絡下さい。

地域福祉部の活動のようすは、引き続き本紙面において紹介していきます。



笑顔いっぱいの新春餅つき

みんなでついた餅はやっぱりおいしい!!

稲築地区の障がいのある子どもとその家族のみなさんの会である「ほのぼのサークルはぐるま(代表:野村博昭さん)」が、1月10日、旧はぐるま工芸舎で新春餅つき会を開催しました。



同サークルは、7年ほど前から、年に数回バスハイクやパーベキュー、宿泊体験などの行事を行っており、この餅つき会は、子どもたちに様々な経験をさせることと、会員同士の交流を深めていくことを目的に行ったものです。

当日は、8組の家族のほか、ボランティアなど25名が参加し、時折雪が舞う悪天候にもかかわらず、「よいしょ、よいしょ」「いち、に、さん、いち、に、さん」とみんなで声を掛けながら交代で餅をつきました。相手となかなか息が合わずに杵と杵がぶつかったり、臼を叩いてしまったたり、そのたびに周囲からは笑い声上がり、「がんばれようです。」

野村さんは「地域の中には、障がいのある子どもを育てながら、相談できる相手も見つからずに悩んでいる保護者もいるのではないかと思います。今年も3、4回くらいはこのような行事をしたと思っていますので、より多くの方に参加してもらって、交流を深めて、お互いに相談できるような関係を広げていきたいですね」と、これからの抱負を語ります。



やっぱり餅はつきたてが一番おいしい!!



アツアツの餅をうまく丸めれるかな?



かまボランティア 市民活動センター情報

2009年
2月



寺田 守さん

ボランティア活動を始めたきっかけは—

私は27年間小学校の教員をしてきましたが、2年前に病気で倒れ、退職しました。その後は自宅での療養を続けてきましたが、体調がだんだん回復するにつれて、何か自分にできることはないかと思うようになりました。

そんなときに「えがお」で、ふあん・ファン・FUNのボランティア募集の記事を読みました。これだったら、昔取った杵柄で、自分にもできるかもと思い、活動に参加しました。

具体的な活動内容をお聞かせください—

障がいのある子どもたちと一緒にプールに入って、子どもたちが安全にスイミングを楽しめるように、補助をしています。難しいように思うかもしれませんが、指導員の方もついていますので、安心して活動できています。

冬の間は、子どもたちの体調を考慮して、プールはお休みということで、昨年12月はクリスマス会が開催され、そのお手伝いもしました。子どもたちのえがおがとても印象的でしたね。

ボランティアさんに聞きました!!



実際に活動してみても感想をお聞かせください—

まだ参加し始めて日は浅いですが、もともと子どもたちと接することが好きですし、自分の経験を活かして活動できることに、とてもやりがいを感じています。

それに活動を通して、子どもたちやボランティアの方などたくさんの人と出会い、接することができました。ボランティアって、人のためであり、自分のためでもあるんだなって実感しています。

これからの目標は—

この活動を続けていながら、少しずつ他の活動にも参加してみたいと思っています。

例えば、障がいの有無に関わらず、学習の支援などもできればいいかなと思っています。やっぱり、これまでの自分の経験を活かした活動をしていきたいですね。

イベント情報

平成20年度子育て支援研修会

子育て支援にかたろう 聞いて! 語って! つながろう

～お母さん・お父さんの思い 支援者の思い 知ることから始まる子育て支援～

講師:木ノ原 元美 さん(瀬田公民館 地域活動指導員)

子育て中のお父さんやお母さん、子育て支援者がそれぞれの思いを語り合い、これからの子育てについて考える研修会を開催しますので、参加してみませんか?

- ◆日 時/平成21年2月13日(金)
10時30分～12時30分
- ◆場 所/イイツカコミュニティセンター
- ◆参加者/子育て当事者や関心のある方、
民生委員・児童委員など
- ◆参加費/無 料
- ◆問い合わせ先/福岡県社協子育て支援事業推進室
TEL 092-584-3785

子育て講演会 もっと楽しく子育てやりたい!!

講師:九州大谷短期大学教授 山田 真理子さん

子どもの親となり、どうしていいかわからないことばかりで、不安や悩みなどたくさんあると思います。家事や育児に追われ、いつの間にか笑顔も消えて…「もっと楽しく子育てをやりたい!!」そんなあなたに、是非聞いてほしいお話です。

- ◆日 時/平成21年2月4日(水)
10時～12時
- ◆場 所/つどいの広場いづか
- ◆参加費/1,500円(当日2,000円)
- ◆託 児/一人 500円(定員30名・生後6カ月以上)
- ◆問い合わせ先:わいわいキッズいづか事務局
TEL 28-7319
(月・水・金10:00～16:00)

ご存知ですか？使用済み古切手収集のその後・・・

使用済み古切手の収集は、家庭や学校また企業等において行われています。古切手を届けていただいた方から、「どのように活用されているの」「何に役立てられているの」とよく質問を受けますので、本会が送付している団体“誕生日ありがとう運動本部”（神戸市）の収集後についてご紹介します。

Q.全国各地から送られてきた使用済み古切手は、どのように取り扱うの？

A.ボランティア登録している40名の方が、切手の分類や整理をした後、しおりやコレクションセット、キーホルダーなどに蘇らせます。コレクションセットとは、国宝や花などシリーズに分けて台帳に貼り付け、コレクターや一般の方にも好評で、200円～500円で福祉のお店や幼稚園で販売されるそうです。

誕生日ありがとう運動本部では、その売上金を障がい者問題の理解を深めるための広報紙発行などの財源に充てているそうです。

使用済み古切手の収集は、身近なボランティア活動のひとつですので、あなたも取り組んでみませんか？

お持ちいただく際のお願い

どんな切手（外国切手を含む）でも収集することができますが、お持ちいただく時は国内の切手と外国の切手は分けてください。葉書や封筒に貼っている切手を周囲5mmから1cmの余白を残して、切り取ってください。



見事に整理されたコレクションセット

身近な地域のイベントや講座に関する情報を掲載していますので、ご利用ください。
なお、各情報についての詳しい内容は、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

楽しく走ろう！第19回 ふくおか子ども駅伝 in 嘉麻

福岡県内の子どもたちが集まり、楽しく走り、たすきをつないでゴールします。

- ◆日 時／平成21年2月15日(日)
10時30分～
- ◆場 所／嘉麻市山田生涯学習館
山田図書館前道路

皆さん、是非見に来て下さい。

- ◆問い合わせ先：嘉麻商工会議所内
ふくおか子ども駅伝 in 嘉麻 事務局
TEL090-4486-6001(宮崎)

NPO・ボランティア講座 in 飯塚 ～基本をしっかりおさえよう～

ボランティアやNPOとして活動する中での、基本的な情報をしっかりと学ぶセミナーです。

- ◆日 時／平成21年2月14日(土)
13:30～15:30【開場13時】
- ◆場 所／飯塚市市民交流プラザ
- ◆参加費／無 料
- ◆問い合わせ・申込先：ふくおかNPOセンター
TEL092-751-6042
FAX092-751-6043



それぞれの介護をみんなで支えあっていきたい ～ 在宅介護者の集い「こころ」～



勉強会で、高齢者の食の注意点などを学びました。



日帰り親睦会で旧伊藤伝右衛門邸を見学。

在宅介護者の集い「こころ」では、毎月第2木曜日に在宅介護者や、介護経験のある方などが集まって、介護に関する情報の交換や、日ごろの悩みを語り合うなど、リフレッシュを図る活動をしています。

昨年9月には、介護の技術を高めようと「高齢者の食と栄養」をテーマとした勉強会を開催し、11月には参加者同士がもつと交流を深めようと、日帰り親睦会を開催しました。

メンバーの松岡美知子さんは、「在宅での介護は、大変なこともたくさんあります。でもそればかりではありません。楽しいことも、つらいことも話して、共感してくれる仲間がいるということはとても心強く思います。」と、この会の大切さを語ります。また、介護に関心があつて参加している淵上昌子さんは「在宅で介護を始めたばかりの人などは、制度のことも、このような集いのことも知らない状態で、一人で抱え込んでしまっている人も多く、もっと多くの人に知ってもらって、参加してもらいたいですね。」と、活動の広がり期待を寄せています。

本会では、今後この集いを定期的開催し、メンバーの皆さんとともに会の活動を広げながら、現在在宅介護で思い悩んでいる方々が、ちょっと参加してみようかなと思えるような場所にしていきたいと考えています。

詳しい内容についてのお問い合わせや参加申し込みなどは、下記までお気軽にご相談ください。

嘉麻市社会福祉協議会 ☎ 0948-42-0751

シリーズ

介護体験記

No.17

在宅介護の回想

吉元 悦子



大正、昭和、平成と激動期を元気で働き生きてきた両親も高齢となつて、身体の衰えと不自由を感じながらも、家族を気遣つて動いていました。

これからも家族が笑顔でもにも過ごせる介護ができるというなどと思うと、自分の病後の体力回復を意識、諸々の状況を考え、会社を退職しました。介護知識も無に等しく、不安と心配でいっぱいでしたが、皆さんの力をお借りして申請から始まり、父は通所ケア、母は訪問看護サービス利用開始。家族皆が話し合い、助け合いの生活が始まりました。

看護師さんたちとの会話や暖かさに支えられ、母はリハビリを自ら実践しておりました。母の急逝した日以降、父は身体と気力の衰えが増し、今まで以上に気配り、目配りが

必要でした。治療入院となつた時、在宅介護が続けられるようにと、先生や看護師さん、栄養士さんたちは、まったく経験のない不安いっぱい私の私に医療器の扱い、体移動、痰の吸引の仕方、食事のことなどを教えていただきました。本当に感謝でした。

退院が決まった日、父に伝えようと病室に帰ると、ニコニコ笑つて身体全体で喜びを表していました。まだ退院を告げないのにと驚き、それは会話はできなくても心と身体を感じ取つたのだと直感しました。介護する側の心が受ける側にもそれぞれの心が表われ、相対するのだと教えられました。あの笑顔が今も思い出されます。

先生、看護師さん、訪問看護師さん、デイケアの方々、ケアマネージャーさん、栄養士さん、ヘルパーさん、多くの人に支えられて、家族皆が共に在宅介護ができたことに、感謝いたします。

心安らぐ介護は何だろうか、まだできることはないか、これで良いのだろうかなど多くのことに心の葛藤もありましたが、在宅介護の重要性、難しさ、家族の絆の大切さ、家族だからできること等考えさせられる多くのことがありました。皆で介護させてもらえた両親にありがとう。

嘉麻市支会だより

募金総額は、8,502,855円でした

みなさまのご支援、ご協力ありがとうございました!!

昨年10月1日、市内7ヶ所の街頭募金から始まった平成20年度の赤い羽根共同募金運動が、12月31日をもって終了いたしました。

募金協力の呼びかけは、世界同時不況による企業業績の悪化や、それに伴う世帯収入等が減少する中で行うこととなり、戸別募金、企業募金ともに、募金運動を通じて度々厳しいお言葉を頂戴し、事態の深刻さを実感するものとなりました。

しかし、このような状況の中でたくさんの方々が街頭でも、また各世帯でも募金にご協力を下さった他、市内・市外の企業・事業所、公共機関、社会福祉施設等々においても、図書カードやパッチ等の購入、現金による募金などを通じてご協力をいただきました。

その結果、昨年より6.8%の減となりましたが、

850万2千8百

55円もの尊い浄財が寄せられ、福岡県共同募金会に全額送金いたしました。



今回募金にご協力くださった市民の皆様をはじめ、多くの企業・事業所等の方々に対しまして厚くお礼を申し上げますとともに、募金運動の推進にご協力いただいた行政区長さん、組長さんをはじめ、市内の中学生や高校生、ボランティアサークル、社会福祉施設の皆さん等に重ねてお礼申し上げます。

そこで、平成20年度の共同募金運動の終了に際して、実績報告をさせていただきますので、ご覧いただけますので、ご覧いただければ幸いです。

なお、この寄せられた募金は、平成21年度に福岡県共同募金会を通じて、嘉麻市内の社会福祉施設の整備費や地域福祉充実のための活動費として、配分されることとなっております。

集まった募金の内訳

赤い羽根共同募金

●街頭募金	330,069円	稲築	152,480円	●随域募金 (買財購入、現金等の協力による募金)	232,000円	稲築	77,000円
		碓井	49,460円			碓井	35,000円
		山田	63,956円			山田	73,000円
		嘉穂	64,173円			嘉穂	47,000円
●戸別募金	5,843,403円	稲築	2,831,230円	○図書カード	561,000円	稲築	161,000円
		碓井	569,060円			碓井	92,000円
		山田	1,152,313円			山田	162,000円
		嘉穂	1,290,800円			嘉穂	146,000円
●法人募金	1,240,000円	稲築	526,000円	○ネクタイピン	18,000円	稲築	8,000円
		碓井	161,000円			碓井	4,000円
		山田	341,000円			山田	5,000円
		嘉穂	51,000円			嘉穂	1,000円
		市外	161,000円				
●キャラクター募金	84,972円	稲築	65,768円	○バッジ (ピン・タイ式)	85,500円	稲築	7,000円
		碓井	8,035円			碓井	500円
		山田	11,169円			山田	13,000円
●イベント募金	19,000円			○現金	86,377円	稲築	12,634円
						碓井	2,567円
						山田	19,366円
						嘉穂	51,810円
●預金利息	2,534円						

募金において、多くの方々が共同募金にご協力くださいました。

【山田地区】

◎街頭募金実施協力先

セブンイレブン山田市上山田店、スーパー川食山田店

◎街頭募金にご協力いただいた方々

障がい児を持つ家族の会トロッコの会のみなさん
 軽費老人ホーム三光園職員のみなさん
 社会福祉法人山田慈恵会職員のみなさん、山田中学校生徒有志のみなさん
 共同募金会嘉麻市支会理事・監事、個人ボランティアのみなさん



【嘉穂地区】

◎街頭募金実施協力先

カッホー馬古屏、スーパーおおさと、スーパーASO大隈店

◎街頭募金にご協力いただいた方々

障がい児を持つ家族と仲間の会たんぼぼクラブのみなさん、嘉穂ボランティアともしび会のみなさん
 身体障害者療護施設三愛園利用者・職員のみなさん、嘉穂総合高等学校嘉麻市立大隈城山校生徒有志のみなさん
 共同募金会嘉麻市支会理事



各行政区長さん、隣組長さんを通じて、各世帯から共同募金へのご協力をいただきました。

・商店等280社から、共同募金へのご協力をいただきました。

(敬称略・順不同で掲載)

かいだ美容室 溝口金物店 (株)荒木窯業 (有)梅野ガラス ひさつね葬祭(有) (有)おおくぼめんたいこ (有)山田衛生工業 (株)戸畑金属工業 ふるさと食堂 (株)渋谷ゴルフセンター (株)東洋ドライ 長松蒲鉾店(有) (有)ウィルビ (有)永嶋合同 永嶋工業(株) (有)三共貨物運送 上山田商事(株) (社)嘉麻・桂川 広域シルバー人材センター 石川砥油店 松岡オフセット印刷(有) 西照寺 あすか 坂本カメラ (有)フジタ ファッション武田 和光(有) (株)嘉穂タクシー みすず美容室 松田商店 ほっともつと山田大橋店 すずらん 福住 真次花店 ちくざん ひがし歯科医院 (有)岩下建設	フミ美容室 本村洋品店 秋穂整骨院 (有)大田建設 にしきや 松岡美容室 中村薬品店 理容テヅカ 阿部履物店 久保山商店 (株)ダイワ 手塚クリーニング 大塚精肉店 (株)千鳥家本家 かわべ化粧品店 下田クリーニング (有)柴田建材店 坂本写真館 毎日新聞山田専売所 松本食品 (有)内海石油 わんわんハッピー サロンド松岡 小島歯科医院 セブンイレブン山田市上山田店 つかベデンキ シャンソン化粧品山田営業所 柴田組(有) 藤崎チエ子(参所) 龍泉寺 平塚医院 呉服のいわした 双中商事 ビューティーハウスあさひ 白金材木店 (有)すえひろ 橋山畳店 (有)さとう呉服店	とりいでんき 上嘉穂食糧販売(株) 内田食品 A Y S 篠崎敏樹 (有)田中サニタリー工業 山本商店 山田精肉店 (有)平尾石油店 酒処みね ちかき石油 久恒商店 岡部食品(有) (有)内田珍味食品 古河機械金属(株) 山田自動車(株) (有)筑豊ソーイング (有)坂本建設 田中歯科医院 魚喜鮮魚店 山田精肉店(アサヒ店) トモス(株)	杉自動車工場 玉の井酒造(株) 黒田武士酒造(株) 瑞穂工務店 医療法人三愛 健康リハビリテーション内田病院 N O K エラストマー(株)
【 その他 】			
三信ビル管理(資) (株)玉置 総合警備保障(株)飯塚営業所 総合開発企業組合 (株)ニューマルシン本部 とり久 くぼた企画 ダイワ印刷(株) カシオ情報機器(株) (株)パシフィックシステム (株)マツレン アイエス工業(有) (株)ワールドプリンティング ホシザキ北九州(株) (株)KRC桂川(川村) リースキン・サトー (有)新コーポレーションダスキン 新サービスマスター 福岡嘉穂農業協同組合 (株)中村建設 (有)幸和木工 (有)アシスト 二葉印刷(株) (有)包装の江島屋 江島健治			
【 嘉穂地区 】			
古賀製菓 荻原モータース シャディベにや (有)益田石油 おおさとスーパー (有)大里自動車 永吉米穀店 タイヤのもりた 伊藤(有)伊藤印刷 (有)矢野 伊藤自動車工場(株) 大隈タクシー			

～街頭募金～

市内のスーパー等の店頭で行った街頭



【稲築地区】

◎街頭募金実施協力先

たんと稲築店、ハッピー薬局稲築店、セブンイレブン稲築郵便局前店
スーパー大栄稲築店、スーパーASO稲築店

◎街頭募金にご協力いただいた方々

ほのぼのサークルはぐるまのみなさん、ふれあいいきいきサロン岩崎若葉会のみなさん
鴨生町地域福祉部のみなさん、児童養護施設嘉麻学園職員のみなさん
知的障害者更生施設清浄学園利用者・職員のみなさん、社会福祉法人稲穂会職員のみなさん
稲築志耕館高等学校生徒有志のみなさん、稲築中学校生徒有志のみなさん
稲築東中学校生徒有志のみなさん、個人ボランティアのみなさん
共同募金会嘉麻市支会理事



【碓井地区】

◎街頭募金実施協力先

道の駅うすい、スーパー川食碓井店

◎街頭募金にご協力いただいた方々

知的障害者入所更生施設つばさ学園利用者・職員のみなさん
個人ボランティアのみなさん、共同募金会嘉麻市支会理事



～法人募金～

次に掲載させていただいた企業・事業所

【 稲築地区 】	【 碓井地区 】	【 山田地区 】
(有)野見山産業 (株)九州互助センター(飛鳥会館) 加地石油(株) 加地タクシー(株) 三豊プラスチック工作所 (有)瓜生設備工業 (株)五和製作所九州工場 (株)稲築サイエンス 大日海運(株) かみさげ自動車工場 (有)大山産業 (有)福澤組 (株)松隈写真館 嘉穂観光(有) (有)永光産業 稲築砂利 嘉穂産業(株)嘉穂自動車学校 宮崎量商店 山倉建設(株) (有)シノハラ 九州指月(株) 社会保険稲築病院 ロケット石鹸(株) (有)山本モーターズ (有)安川組 有田電器ドットコム (株)高木工務店 飯塚信用金庫稲築支店 (株)エノモト 岡崎インターナショナル(株) (株)門真 本多機工(株) 甲陵樹脂工業(株)九州工場 有松病院 (有)田村環境開発工業 西野病院	(有)西田モーターズ 森石油店 鴨生タクシー (株)福田電気商会 (有)中村工務店 (株)西田建設 西田石油(株) 専正寺 九州交通観光バス (有)荒巻運送 永水土木建設 (有)おかむら葬祭 九州中央環境消毒(株) (株)白ぼたん (有)プラスチックK (有)山下工業 エイコー測量設計(株) (株)サンコービルド筑豊支社 (有)ハートフルはしもと サンコーケアライフ(株) (有)稲築環境衛生 山野商事(株) (株)山野住設 (株)のかみ (株)パスター (株)ショウエイ コマツハウス(株) クロダルマクロージング(株) 珈琲工房ぶれん堂	創拓工業(株) (株)岡崎製作所福岡工場 伊藤サイクル商会 フラワーショップ野の花 碓井中央ストアー 光板金店 坂田石油(有) 西日本新聞エリアセンター碓井 渡辺自動車整備工場 いた歯科クリニック きど葬祭碓井斎場 信栄運輸(有) 大塚内科クリニック 介護老人福祉施設筑豊園 通所介護うすいの里 麻生筑豊コンクリート工業(株) 碓井工場 吉国医院 ごとう 歯科医院 坂本酒店 松隈産業(有) 上野衣料品店 緒方天賞堂 仲野書店 福岡県中央信用組合碓井支店 碓井町商工会 おごもり印刷 ともミート (株)中川プレタ 匿名4社 篠崎建設(有) 岡田理髪店 木の実 大田造園
		マルボシフーズ(株) ベニヤ化粧品店 大田プロパン 日本生命保険(相)山田営業所 占部電器商会 中村呉服店(株) ナカムラ時計店 沖歯科医院 とりや 今林商店 カメヤ開明堂 理容コロナ(有) 小川量店 常盤館 武田酒店 わたや呉服店 (資)内橋商店 (有)ヘアグラッシュラフィアーネ 山田カメラ 林田ストアー (有)大塚葬祭 満月堂 矢野商会 (有)佐野商店 マツオ印刷(株) やきとり喜八 ひろか寿司 Jクラブ (株)吉国組 西日本モダンパッケージ(株) 児玉ショップ 日創プロニティ(株) 田中ストアー 室井自動車(有) 宮下商店 (株)渋谷産業 植上酒店 植上石油店

◎図書カードなどの資材購入による協力先

- 【稲築】 嘉麻市建設部、嘉麻市水道局、稲穂園、第二稲穂園、母子生活支援施設かほの森
清浄学園、山野郵便局、鴨生郵便局、稲築西小学校、稲築地区民生委員児童委員協議会
嘉麻市社会福祉協議会、嘉麻北居宅介護支援事業所、嘉麻北訪問介護事業所
稲築西学童保育所児童館、稲築東学童保育所児童館、三愛自動車工業(株)福岡支店

- 【碓井】 嘉麻市職員厚生会、うすい人権啓発センターあかつき、碓井図書館、織田廣喜美術館
筑豊園、通所介護うすいの里、つばさ学園、碓井第一保育所、碓井第二保育所
碓井小学校、福岡嘉穂農業協同組合碓井支所、碓井地区民生委員児童委員協議会

- 【山田】 山田総合支所総合窓口課、嘉麻市高齢者介護課、嘉麻市健康課、嘉麻市社会福祉課
嘉麻市こども育成課、嘉麻市ケーブルテレビ係、明輝園、三光園、山田慈恵会
筑豊学園、山田学園、どんぐり保育園、長野保育園、山田大橋郵便局、下山田郵便局
松岡病院、よかこの家、上山田小学校、山田中学校
福岡嘉穂農協山田支所、サルビアパーク、山田ふれあいハウス
山田地区民生委員児童委員協議会、きめ込み人形教室むつみ会
食生活改善推進会山田支部、遺族会連合会山田支部

- 【嘉穂】 嘉穂総合支所、嘉麻市学校教育課、社会福祉法人ひまわり会、三愛園、嘉穂第一保育所
嘉穂第二保育所、嘉穂デイサービス、泉河内小学校、嘉穂地区民生委員児童委員協議会

※上記の職場以外でも、個人の方から募金資材(バッジ・ネクタイピン・クオカード・図書カード)のご購入をいただきました。

◎職場で集めた現金による協力先

- 【稲築】 シルバーケア嘉穂利用者・個人1件
- 【碓井】 個人2件
- 【嘉穂】 恵大保育園
- 【山田】 サルビアパーク職員互助会
アサヒゴム(株)福岡工場
かいた美容室、古河機械金属(株)

キャラクター募金箱の設置を通じて、共同募金へのご協力をいただきました。

◎募金箱設置協力先

- 【稲築】 セブンイレブン稲築平店、稲築かっぱ村
セブンイレブン飯塚稲築店
スーパー大栄稲築店、サンコー銭代坊店
ファミリーショップアイ(ポプラ)
たんと稲築店、珈琲工房ぶれん堂
- 【碓井】 道の駅うすい、うすい人権啓発センター
あかつき、碓井千歳会館
- 【山田】 トモス(株)、かいた美容室
福岡嘉穂農協山田支所
上山田小学校
山田中学校
山田慈恵会
どんぐり保育園
山田ふれあいハウス
- 【嘉穂】 三愛園



恵大保育園の園児から、募金をいただきました。

昨年12月10日(水)、恵大保育園の園児のみなさんが、各家庭で4月から貯めていたお金を共同募金に寄付してくれました。

この取り組みは、同園が昭和53年からはじめ、今回で31回目となるもので、当日は、園児全員で「このお金を大切に使ってください」と元気なメッセージを添えて、思い思いに作った、たくさんの募金箱を村上会長に手渡しました。

募金は、全部で51,810円もありました。園児のみなさん、ご家族のみなさん、先生方、本当にありがとうございました。



こまが、まわったばい!

稲築西学童保育所

稲築西学童保育所では、季節にあつたあそびを取り入れています。今の季節は、「こままわし」です。12月になるとしまつていたこまを出し、その日から子どもたちは、毎日のようにこままわしをしてあそびます。まず、こまに紐を巻くことから始めます。お兄ちゃんお姉ちゃんたちが、1年生に上手に教えている姿がよく見受けられます。1ヶ月も経つと上手にまわすことが出来るようになり、お迎えに来られたお父さんお母さんに、「見て見て!」と嬉しそうに見てもらっています。また、「懐かしい」と言つて一緒にこ



まをまわされるお母さんもいます。

学童保育所では、こまの進級表を子どもたちの見えるところに掲示し、段階を追つて少しずつ技が上達していくようにしています。すでに、2級・1級が出来る子どももいます。また『いのちこま』と名付けて、誰が一番長くまわせるか時間を競い合っています。学童保育所児だけではなく児童館利用の中高校生も「在所していた時にこままわしをしてあそんでいた」と、こまを手にのせ上手にまわっていました。

これからも、学童保育所では『こままわし』『あやとり』『おりがみ』『お手玉』などの伝承あそびや『指編みもの』など、指先を使つたあそびをたくさん取り入れていこうと思つています。

☆こまの進級表☆

特2級	往復つなわたりができる
特1級	片道つなわたりができる
1級	空中缶のせができる
2級	空中手のせができる
3級	紐をかけて手のせができる
4級	手のせができる
5級	1分間続けてまわすことができる
6級	3回続けてまわすことができる
7級	まわすことができる
8級	こまに紐がまける

※手のせ・・・手の上のせてこまをまわすこと

本会地域活動推進に大きな支援

～北九州生命保険協会から
福祉巡回車両を受贈～



昨年12月19日、北九州生命保険協会(勝谷健会長)から、福祉巡回車両を寄贈していただき、碓井千歳会館で贈呈式を開催しました。この福祉車両の寄贈は、同生命保険協会の社会貢献活動の一環として、毎年福岡県内の福祉施設や団体等に寄贈されているもので、これまで33台もの車両が福祉活動に役立てられています。今年度は、2台の福祉車両のうち、福岡県社会福祉協議会の推薦を受けて本会へ1台寄贈いただきました。この福祉車両の寄贈にかかる費用等は、同協会に加盟する生命保険会社の社員から「ワンコイン募金」として500円を募っているそうです。

贈呈式で、同生命保険協会の道喜斗識顧問から「嘉麻市は、一人暮らしの高齢者が多いどうかがありました。広い市内の訪問等、嘉麻市の福祉活動に役立ててくださいます」とメッセージをいただきました。

同生命保険協会のご配慮を無駄にしないよう、嘉麻市の地域福祉活動のために有効に役立たせていただきます。この度は本会にありますがどうございました。

法律相談

- 1回目**
と き: 3月5日(木) 13:00~16:00
と ころ: 山田ふれあいハウス
- 2回目**
と き: 3月19日(木) 13:00~16:00
と ころ: 稲築住民センター

心配ごと相談

- 1回目**
と き: 3月11日(水) 13:00~15:00
と ころ: 稲築住民センター
- 2回目**
と き: 3月25日(水) 13:00~15:00
と ころ: 稲築住民センター

3月の総合相談



会場案内

心配ごと相談は、毎月第2・4水曜日に稲築住民センターにて開催します。法律相談(無料)は、毎月第1木曜日が山田ふれあいハウス、第3木曜日が稲築住民センターです。法律相談は予約が必要です。お早めに下記までお申込みください。

嘉麻市社会福祉協議会 ☎42-0751

〔一般寄附〕
嘉穂の名水愛好者一同 様

〔子育てリユース〕

西岩崎 前田 智子 様
辻中籠 森安 恭子 様
尾浦第一 中原 美和 様
ゆうひが丘 大塚 直美 様
上 田中 陽子 様

〔アルミ缶〕

下臼井東 匿 名 様
六四田 松田 敏雄 様
西郷 田中 英子 様
石ヶ崎 渡邊 美千代 様
下宮 三好 邦央 様
熊ヶ畑第三 平嶋 善和 様
木城 吉田 広人 様
百々谷 吉元 悦子 様
嘉穂才田 大屋 由美 様
東馬見 匿 名 様
東馬見 えがお組 様
嘉穂っ子キッズ 様
セレモニーホールおおつか 様

〔リングブル〕

辻中籠 森安 恭子 様
下宮 三好 邦央 様
新原 金原 照子 様
天神 小早川 運 様
熊ヶ畑第一 笹尾 五重 様
熊ヶ畑第一 大里学米穀店 様

熊ヶ畑第二 山本 ヨシ子様

中央 (有)前田建設様

中央 (有)前建工業様

下益 松岡 きくえ様

嘉穂才田 大屋 由美 様

東馬見 えがお組 様

嘉穂っ子キッズ 様

嘉麻市役所保護課 様

〔古切手〕

新原 金原 照子 様

〔使用済みテレカ〕

下益 松岡 きくえ様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています。

会員として、次の方々に
ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます)

12月16日～1月15日受付分

〔個人会員〕

〈漆生南部〉

東村芳枝・山崎敏美・小山信子

〈漆生中央〉

尾崎正和

〈銭代坊〉

長部フジコ

〈鴨生第一〉

平野博(三口)

〈新山野〉

福澤富士雄

〈飯田〉

丸田シヅ子

〈笹原〉

平戸信(二口)

〈古河〉

椎葉陽子

〈中山田下〉

植木待子



嘉麻市社会福祉協議会指定 〔葬祭場紹介〕 きど葬祭 やまさ碓井斎場 嘉麻市飯田214-1 ☎(0948) 62-4499



葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定で
お願いします」とお伝え下さい。葬祭にかかる費用
の一部について割引を受けることができます。

- 嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、きど葬祭
やまさ碓井斎場を含め、市内に8ヶ所あります。
- ひさつね会館……………☎ 52-0758
- いすや会館……………☎ 57-4444
- セレモニーホールおおつか……………☎ 52-1212
- かほ葬祭 あじさい会館……………☎ 62-5566
- 善光会館 稲築会場……………☎ 83-5000
- おかむら葬祭岡村会館……………☎ 42-4420
- 飛鳥会館 南斎場……………☎ 42-4241

- 平成18年10月にオープンしました。
- 24時間年中無休です。
- 精一杯真心で御奉仕致します。
- いつでもどこでもお伺い致します。

知っておきたい

葬儀マナー・基礎知識 No.21



今回ご回答頂くのは…
きど葬祭 やまさ碓井斎場 永芳 直さん

- Q. 妊娠していますが、通夜や葬儀に参列しても構わ
ないでしょうか？
- A. 昔の風習では、妊娠中は参列しない方がよいのでは
と言われていたようですが、現在は参列しても構わ
ないと思います。また、体調が悪い時は、葬儀が終わっ
た後に弔問してもよいでしょう。

年を繰く

「香春岳は異様な山である。福岡市から国道二百一号线を車で走り、八木山峠を越えて飯塚市



愛知県安城市在住
八田 次男さん(77歳)
漆生出身

を抜け……」の書き出しで始まる五木寛之の「青春の門」の主人公、伊吹信介の育った筑豊。明治から昭和まで幾つかの戦争と太平洋戦争の敗戦で焼き尽くされた日本の復興をめざしながら成長してきた筑豊も石炭から石油に転換するエネルギー革命によってあえなく潰れ去ってしまいました。そんな筑豊(稲築)を離れて愛知県に移住したのは、昭和三十八年でした。以来四十六年愛知県に居住し、昨年喜寿を迎えました。従って稲築町での生活よりも愛知県での生活の方が長くなりました。でも稲築での少年期、青年期の思い出は鮮明です。大法山の桜、彦彦山や馬見、古処、屏山の登山等々。平小學校は廃校となり、その思い出は、私と同窓の友人の記憶の中に止どまるのみで、これを証明する現物は、すべて消え去ってしまいました。

稲築を離れる時小学四年生と二年生だった娘達もそれぞれ二人の子を授かり、その子達も立派に成長し巣立って行きました。私は長女夫婦と同居し、日本のデンマークと言われる愛知県の安城市で生活し、老人クラブの活動にも積極的に参加し、健康維持に努めています。今年は丑年ですからモー慌てずに、ゆっくりと一年一年を大切に暮らして行きたいと思っています。

皆様の御健康と御多幸をお祈り致します。

いつまでも安心して暮らせる地域づくりのために

～「社協会員」を募集しています～

嘉麻市社会福祉協議会では、市民の皆さんの参加と協力を得ながら、高齢となっても、また障がいがあっても、住み慣れた嘉麻市で、いつまでも安心して暮らせる地域づくりを目指して、様々な福祉活動を実施しています。

これらの活動は、本会に賛同して加入いただいた会員の方々からの「会費」によって実施されているものが多く、本会では、年間を通じて会員の募集を行っています。



頂戴した会費は、福祉のまちづくりに向けた活動財源として、有効に活用されるものですので、多くの方々の加入をお願いいたします。

※市外の方の加入も受け付けております。

■ 会費の種別と金額

- 一般会員 1口 1,000円/年額
- 法人会員 1口 3,000円/年額

問い合わせ 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751

ヤマガタの
記憶 No.23



大塚シナコさん
87歳
(百ヶ谷在住)

大塚さんが炭鉱で働き始めたのは戦後のことです。終戦を機に、一家で夫の英馬さんの実家がある熊本に移り住みました。しかし、なかなか仕事が見つからず、再び山田に戻ってきました。そして始めた仕事は、坑内から採掘された石炭を選び分ける選炭作業でした。英馬さんも坑内での採炭の仕事に就き、夫婦共働きの生活がスタートしました。

「私が働いたのは小さな炭鉱ばかりだったから、石炭が採れなくなるたびに、一緒に働いていた友達と別の炭鉱に移って働いたんですよ。大きな炭鉱と比べて、賃金も低かったし、給料の支払いが遅れることもあって、本当に苦労したよ。山田にも映画館が何軒かあって賑わっていたけど、観に行く余裕さえなく、働くだけで精一杯だった。」と当時を振り返ります。両親が懸命に働く姿を見ていた3人の子どもたちは、食事の準備や掃除、洗濯といった家事を手伝うなど、家族の連帯や絆によって、生活は支えられていたのです。

「子どもたちは難儀していたと思うよ。昼間はほったらかしですもん。どんな遊びをしていたかもよく覚えとらんもんね。」と語る大塚さん。それでも悪いことをしたら、よその子でもうちの子ども関係なく叱る。みんな子どもを育てていくという炭鉱の街ならではの近所との関係があったからこそ、安心して仕事をする事ができていたのかもしれない。大塚さんは「苦労もしたけど、人の心は今よりも豊かだったから、生活そのものは楽しかった。」と当時を回想します。

子どもたちはそれぞれ独立し、20年程前に英馬さんも他界され、現在は一人で生活を送っています。最近足腰も弱くなり、子どもたちのもとに行く機会も減ってきているそうで、今では市内に住む息子との来訪が最大の楽しみになっています。